

# 村民生活のすみずみにまで 行き届いた行政を

「夢と希望に満ちた四季の里」という  
将来像を目指して、二十一世紀に向けた  
新しい村づくりを展開している白沢村。年々  
多様化するニーズに的確に対応すべく、  
きめ細かな行政サービスを行い、さらには  
役場窓口業務などのOA化による迅速  
化や事業の重点選別など村民の負担  
軽減を視野に含めた行政運営に努めて  
います。また、調和のとれた産業発展に  
よる自立的な経済基盤の確立を目指す

と共に、効率的かつ公正な財政運営を  
進めています。こうした行政内容を広  
く村民に報告するため、防災行政無線  
や広報紙を活用し、同時に各種懇談会  
などを催し広報・広聴活動を積極的に  
推進。常に「村民参加」を基本にしな  
がら、村民のための開かれた行政の在り  
方を追求しています。

村議会は、村民の意思を村政に反映  
させるための議決機関として機能。村



民の代表として選ばれた十八名の議員が、  
年四回の定例会や必要に応じて開催さ  
れる臨時会にて決議にあたっています。  
また、重要事項の専門的な審議を目的に、  
総務、文教厚生、産業建設の各常任委  
員会と議会運営委員会が設置されてい  
ます。



■武田 作徳 副議長



■荻野 哲雄 議長